雲仙

第１６２号
２０２５年　春号

家畜衛生情報

しまばら火張山花公園

県南家畜保健衛生所
（長崎県島原振興局農林水産部 衛生課、防疫課）

〒859-1415　長崎県島原市有明町大三東戊908-1
TEL：(0957) 68-1177（休日、夜間も転送電話対応）
FAX：(0957) 68-2056
Eメールアドレス：s11340@pref.nagasaki.lg.jp

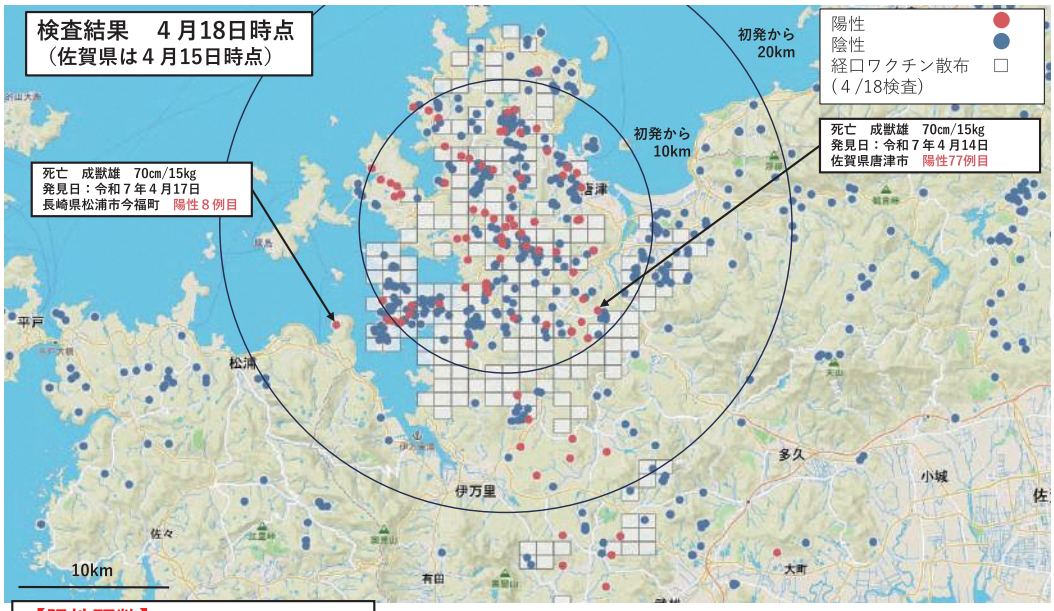
県南家畜保健衛生所　長崎県　検索

【QRコード】

豚熱ウイルスの侵入防止対策を万全にしましょう！

豚熱は、平成30年９月の岐阜県での発生以来、これまでに**98事例・約43万頭**の豚等が殺処分されました。直近では３月から４月にかけて関東地域で発生があり、死亡の増加、ひね豚、活力低下等がみられ、検査にて患畜であることが判明しました。

また、令和７年２月、県北地域で野生イノシシの豚熱陽性事例が初めて確認され、２月から３月にかけて経口ワクチンの野外散布が実施されました。現在、**佐賀県で77頭、長崎県では、松浦市福島町で7頭確認されていたところ、４月に新たに松浦市今福町で１頭確認され、**豚熱ウイルスが確認された地域が徐々に拡大しています。さらに、**宮崎県都城市でも新たに1頭**の豚熱感染が確認されており、どこでウイルスが確認されてもおかしくない状況となっています。



【陽性頭数】
佐賀県：77頭　　長崎県：８頭

感染範囲（最小内包円による）：約19.6km
農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

経口ワクチンの
野生動物の摂食跡

●豚熱は、**適切なワクチン接種と飼養衛生管理基準の遵守により、発生を予防する**ことが可能です。衛生管理を徹底し、**ウイルスの農場への侵入を防ぎましょう**。また、異状を見つけた場合の**早期通報を徹底**し、周囲の農場等への**ウイルスのまん延を防ぎましょう**。

●ウイルスの拡散を防ぐため、野生イノシシの豚熱陽性が確認されている地域には極力、行かないようお願いします。

人・物・車両によるウイルスの持込み防止

・衛生管理区域、豚舎への制限
・出入りの必要がある際の洗浄・消毒の徹底
・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と飼養の徹底
・人・物の出入りの記録

専用の服や靴を使用しましょう

野生動物対策

・防護柵の設置等による野生動物侵入防止対策
・飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物の混入防止
・豚舎周囲の清掃、整理・整頓
・死亡豚の処理までの間、野生動物に荒らされないように適切に保管

フェンスの状態を確認しましょう

韓国で口蹄疫が発生しています

韓国において、令和７年３月に1年10か月ぶりに口蹄疫が発生し、４月14日時点で19例（牛14例、豚5例）と拡大しています。韓国、北朝鮮、ロシア、中国等のアジア周辺諸国において、引き続き口蹄疫が発生しており、国内への侵入リスクは依然として高い状況です。牛飼養者、豚飼養者の皆様におかれましては、発生予防の徹底をお願いします。

- □ **関係者以外の立入を制限**しましょう
- □ 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用**し、**手指を消毒**するとともに、**持ち込む物品や出入りする車両の消毒を徹底**しましょう
- □ 畜舎の出入り口に**専用の靴の着用**や**踏込消毒槽**を設置しましょう
- □ **口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、**これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう**
- □ 疑わしい症状があれば直ぐに通報しましょう

～牛の症状～

写真：宮崎県提供

<A型口蹄疫ウイルスの観戦実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供

うっとおし～いハエの対策を実施しましょう！

ハエは暖かくなってきたら、とたんに**大発生**して全家畜のストレスの原因となります。

特に多いのが**サシバエ**と**イエバエ**です。これらは**「ランピースキン病」**をはじめとした、様々な病気を伝播する**かなり厄介な存在**ですので、以下の対策をして、少しでもハエの発生数を減らしていきましょう！

サシバエは**黒い色に寄ってきます**から、黒い服を着てたら人も刺されやすくなる可能性があるので気を付けてくださいね！

サシバエ
家畜を刺して吸血

イエバエ
汚物等をなめる

【幼虫対策】

◎牛舎の、**牛の踏まない柱周辺や壁際、水槽や飼槽下、子牛の敷料の下**などに**「ＩＧＲ剤」**（**脱皮を阻害して成虫に出来なくする薬剤：ネポレックスやサイクラーテSGなど**）を散布。乾いた場所には水に溶かしてジョウロで散布しましょう。**ウジの虫体に薬剤が付くように**まんべんなく散布します。

◎家畜ふんを堆肥舎に持って行き、すぐに切り返して発酵により**温度を上げる。**（ハエの卵は**40℃以上**で死滅、幼虫も堆肥化する際の熱で死滅するため）

【成虫対策】

◎**イエバエ**：**ベイト剤**（ハエ用の毒餌）を皿に入れるか、溶かしてハエが良くたかっている場所に塗布する。砂糖や甘い缶コーヒーなどを混ぜるとよく寄ってくる。

◎**サシバエ**：**サシバエ対策用のネット（ペルネットなど）の設置**、**立体的なもの**（**乾草**や**ロールラップ**、**コンテナ**等）に**黒い色**（**黒いゴミ袋**や**黒マルチ**等）を被せ、それに**ハエ捕り粘着剤（ハエラップ等）**を塗り、牛が触らない、風が当たらない場所に置いておく。

◎**牛舎周辺の草刈り**を実施する。または**昼頃を狙って**牛舎周辺の草むらに**殺虫剤**（**ピレスロイド系**推奨）を噴霧散布する（サシバエは昼間、**周辺の草むら**で休憩しているため）。

◎ハエが**牛舎内にいる時間帯**（**朝、夕**）に牛舎の空間消毒（殺虫剤噴霧）を実施する。

令和6年度 病性鑑定実施状況

年間計266件の病性鑑定を行った結果、牛では生産性が低下する慢性疾病の消化器病や呼吸器病が多くみられています。豚では急死の原因究明依頼が多く、豚レンサ球菌症が多くみられています。鶏では、急死の原因究明依頼が多く、鶏大腸菌症が多くみられています。

	牛 178件	豚　34件	鶏　54件
消化器	牛ロタウイルス病（5） クリプトスポリジウム症（2）	豚大腸菌症（新生期下痢）（1）	
呼吸器	牛パスツレラ症（1） 誤嚥性肺炎（1） 化膿性気管支肺炎（1） BRDC（2）	豚パスツレラ症（1） グレーサー病（1）	鶏アスペルギルス症（1） 鶏伝染性気管支炎（1） 鳥パスツレラ症（1）
急死	創傷性第二胃炎（1） 肝膿瘍（1）	豚レンサ球菌症（8） 豚鞭虫症（1）	鶏大腸菌症（7）
複合病		豚パスツレラ症・豚胸膜肺炎（2） グレーサー病・PRRS（1） 豚レンサ球菌症・豚インフルエンザ（1） 豚レンサ球菌症・豚マイコプラズマ病（1）	鶏大腸菌症、鶏コクシジウム症（1） 鶏大腸菌症、鶏アスペルギルス症（1）
その他	牛伝染性リンパ腫（10） 乳房炎（62） 代謝プロファイルテスト（4） 腹膜炎（2）尿毒症（1） 先天性奇形（2） ミイラ胎子（1） アイノウイルス感染症（1） 敗血症（2） 銅中毒（1） 心室中核欠損（1）	豚サルモネラ症（1） スス病（1） 出血性小腸炎（1）	壊疽性皮膚炎（1） マレック病（2） 鶏脳脊髄炎（3） 尿酸塩沈着症（2）

※主な疾病のみ記載しています

令和6年 繁殖集計結果について

令和６年の黒毛和種繁殖牛に対する人工授精は、実頭数6,645頭、合計11,730回でした。そのうち、県有種雄牛の利用率は82.7%と前年よりやや増加しました。上位５頭はいずれも県有種雄牛であり、「姫晴久」の利用が大きく増加しました。

県有牛の授精回数および利用率

内　訳	授精回数（回）	利用率（%）
県有牛	9,702	82.7
その他	2,028	17.3
合　計	11,730	－

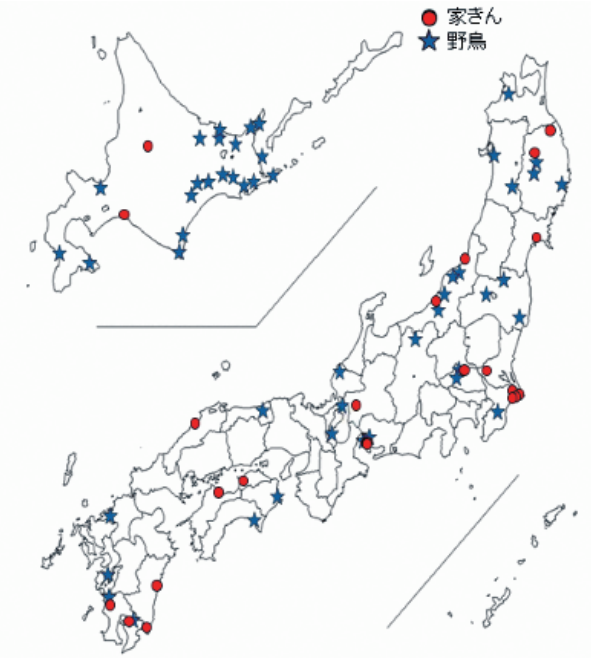
利用率上位５種雄牛

順　位		種雄牛	授精回数（回）	利用率（%）
1	－	幸　男	3,627	30.9
2	－	金太郎	1,489	12.7
3	△	勝乃幸	1,189	10.1
4	△	姫晴久	832	7.1
5	▼	真乃介	721	6.1

令和６~7年シーズンの鳥インフルエンザ発生状況

令和７年４月15日現在、家きん農場での高病原性鳥インフルエンザの発生数は51事例です。今シーズンは、令和7年1~2月の**1か月間に35例と、過去に例を見ないペースで発生**がありました。うち、愛知県（13例）、岩手県（5例）、千葉県（15例）では**家きん農場の密集地域で発生が続発**し、発生数の大半を占めました。

鳥インフルエンザの流行シーズンは過ぎつつありますが、**野鳥の感染事例はまだ発生しています。**今後も引き続きバイオセキュリティ対策に取り組んでください。また、次のシーズンに向けて防鳥ネット等の点検・補修をお願いします。



●今シーズンの鳥インフルエンザ発生数		
家きん	14道県	51事例
野　鳥	18道県	168事例

家畜排せつ物と堆肥は適切に管理し利用しましょう！
~利用すると大事な資源！捨てると罰則対象に~

温かくなってくると野菜や牧草作りが始まります。堆肥を肥料として畑に散布される方も増えてくると思います。しかし、家畜ふん尿を堆肥化もせずそのまま畑に大量に散布してしまうと、臭いやハエの発生で苦情の原因となってしまいます。堆肥舎できちんと堆肥化したものを畑に還元しましょう！

１つでもチェックがつけば不適切な管理になる可能性があるため、改善が必要です。

- □ 糞尿・堆肥が一部、堆肥舎外へ露出している（黒い汁等も）。
- □ 降雨時に、糞尿・堆肥に雨があたり流出している。
- □ 堆肥を田・畑にすぐにすき込まず、放置している。
- □ 地域の栽培基準(10a当たり2~3ｔ) 以上の堆肥をすき込んでいる。

不適切な管理の例：
野積み、素堀り、汚水の流出

適正管理

適正利用

※堆肥流通を推進するため、堆肥供給リストを作成しています（随時更新）。
リスト掲載の希望や内容については下記にお問い合わせください。

耕畜連携（マッチング）　長崎県　検索

【QRコード】

【問い合わせ先】
島原地域資源循環型畜産確立推進指導協議会
（事務局：島原振興局地域普及課）電話：0957-62-8050